



2025年問題

生活習慣病センター長・副院長
安藤 好久

「団塊の世代」という言葉をご存知でしょうか。第二次世界大戦直後の1947年～1949年の第一次ベビーブームの時代に生まれた世代をさします。堺屋太一さんの小説「団塊の世代」が由来になっています。2025年に団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、人口の4分の1が後期高齢者となります。まさに日本は超高齢化社会となり、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想されることを「2025年問題」と呼びます。

医療・福祉の分野では介護業界のターニングポイントとして注目されています。要介護高齢者が増えることで介護サービスのニーズが高まり、介護・医療費が増額する一方で、深刻な介護人材不足に陥ると予測されています。

まず、介護保険の財源不足から介護保険サービスの利用料や介護保険料の増額は避けられません。実際、政府は65歳以上の高齢者が支払う介護保険料を今年4月から全国の平均でこれまでより3.5%高い月額平均6200円に引き上げました。

次に介護職員の不足も避けられません。要介護高齢者が増えるということは、認知症患者も増加するということです。現在すでに慢性的な介護職員の不足の状態が続き、全体的な介護量は急増し、さらにより高い介護の質が求められています。2025年にはさらに約38万人の介護職員が不足すると見込まれています。つまり、介護施設や介護事業所で必要なときに介護サービスが受けられない、いわゆる「介護難民」が増加して「介護崩壊」の状態となる恐れがあるわけです。ちなみに2022年4月時点における特別養護老人ホームの入所待機者数は全国で27万5,000人でした。

単純に介護施設や事業所を増やして、介護職員を充足させれば解決する問題でもなく、政府は、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が重要として、全国の自治体に対策を求めています。「地域包括ケアシステム」が実現すれば、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会が構築されるとしています。

しかし、介護職員の不足は深刻であり、最初に解決すべき問題です。2019年4月に外国人が介護職で活躍できる在留資格「特定技能1号」が新設され、技能実習制度が適用されました。宮崎医療センター病院でも昨年よりベトナムから技能実習生を受け入れて、日本の介護知識と技能を学んでいただいています。これにより将来的に介護職員の充足も期待されますが、根本的な解決策にはなりません。日本の若者に介護職を就職の選択肢に入れてもらうにはどうすれば良いかを考える必要があります。まずは「イメージアップ」戦略。たとえば、東京都ではハローキティを「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」に任命し、介護・福祉の魅力を伝えています。次に、労働環境と処遇の改善も必要です。働き方改革で業務内容を見直し、介護ロボット導入やITを活用した業務の効率化で業務負担の軽減を推進し、介護職員処遇改善加算により介護職員の所得アップを図っています。

理念

○私たちは、自分が受けた医療・看護・介護を提供します。

基本方針

- ・患者さまの権利と尊厳を大切に、心のこもった医療・看護・介護を提供します。
- ・根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します。
- ・全職種による安全で質の高いチーム医療を行います。
- ・急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します。
- ・地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します。

宮崎医療センター病院

四季

題字 理事長自筆

夏号

2024年 7月18日発行



宮崎医療センター病院
宮崎市高松町2-16
TEL:0985-26-2800
FAX:0985-27-6811



★緩和ケア病棟★

緩和ケア病棟では毎月1回、レクレーションを行っています。写真は4月～6月に行ったレクリエーション活動の様子です。患者様の気分転換になるようにと毎月アイデアを練っています。私たちはがんの終末期患者様とご家族に対し、多職種協働で質の高い緩和ケアを目指して行きます。

★4月 桜まつり★



桜をモチーフにした可愛らしいお菓子が出ました。催し物として、楽器の生演奏も行われ、穏やかなメロディーと綺麗なハーモニーに会場にいた全員が癒され、穏やかな時間を過ごしました。

★5月 新茶まつり★



こどもの日にちなんだ鯉のぼりの飾りと抹茶のデザートが見る人の目を楽しませていました。和太鼓の演奏もあり、身体の芯まで響く力強いリズムに、その場に居た全員が圧倒されました。激しく、力強い圧巻の音色のなかに、背中を押してくれるような優しさも感じられる演奏でした。

★6月 紫陽花祭り★



梅雨の時期を少しでも楽しめるようにと、各テーブルに紫陽花を飾るなどの工夫を凝らし、患者様のご家族と一緒に楽しく交流しました。歌あり、演奏ありと和やかに会を楽しみました。

患者様の権利

- ・患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
- ・患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
- ・患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- ・患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります。
- ・患者様は、プライバシーを尊重される権利があります。

【患者の皆様へのお願い】

良質な医療を実現するために、医師をはじめとする医療提供者に対し、ご自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供して下さいようお願い致します。

宮崎医療センター病院



令和6年度 健康診断のご案内

年に一度の健康診断はお済ですか？

日本人の平均寿命は、年々伸びていますが、生活習慣病も年々増加しています。健康診断を受けることによって、病気の早期発見、早期治療が可能となります。健康管理の一環として、健康診断を年一回受けましょう!!



◎当院では下記の健(検)診を実施しております。

宮崎市特定健診

健診内容 ・計測・血液検査
対象者 35歳以上の宮崎市国保加入者

宮崎市大腸がん検診

健診内容 ・免疫便潜血検査(2日法)
対象者 40歳以上の人

宮崎市胃がんバリウム検診

健診内容 ・胃部エックス線検査
対象者 50歳以上の奇数年齢の人

宮崎市胃がんリスク検診

健診内容 ・血液検査
対象者 40歳以上で過去4年度に受診歴のない人

宮崎市肝炎ウイルス検査

健診内容 ・血液検査
対象者 過去の受診歴がない人

宮崎市前立腺がん検診

健診内容 ・血液検査
対象者 40歳以上の男性

宮崎市乳がん検診(超音波のみ)

健診内容 ・超音波検査
対象者 30歳以上の女性

社会保険被扶養者等の特定健診

健診内容 ・計測・血液検査
対象者 健保・共済等にご加入の被扶養者

その他

企業健診や入職前健診も行っております。
※検査項目等を事前に確認させていただきます。

★各種、健(検)診の費用につきましては健康診査受診券に記載されています。

※健康診断は予約制となっております。1日にお受けできる人数が限られております。ご希望の方はお早目にご予約をお願い致します。(健康診査受診券をご準備の上ご連絡ください)

《予約受付・問合せ》 宮崎医療センター病院 医事課
月～金(平日) 8:30～17:00
TEL:0985-26-2800



ただ、こうした対策で2025年に間に合うのでしょうか。難しいと思われます。特に労働環境の改善には、事業所に大きな経済的負担が求められるからです。タブレット端末でのデータ入力への推進はまだまだ、介護ロボットは1台、2台の導入で済むわけではなく、補助金制度を使っても高額であり、介護DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進には経済的に高いハードルがあるようです。

私も今年65歳で高齢者の仲間入りです。10年後には後期高齢者です。自分にできることは何か。結局、自分の健康寿命(健康に生活できる期間)ができるだけ長くなるよう祈るしかありません。10年後の介護の世界はどうなっているのでしょうか。介護DXが一般に浸透し、要介護高齢者の方達は介護ロボットに車椅子を押ししてもらったり、入浴の支援をってもらったり、おしりを洗浄してもらったり、これが普通になっているのかも知れません。

★通所リハビリ★

通所リハビリでは、月ごとに花紙等で利用者様と一緒に作品を作っています。毎月、通所リハビリ室内に飾られています。季節ごとに様々な工夫を凝らして、季節を感じられるようにしております。通所リハビリテーション事業所では、要支援1から要介護5の認定を受けられた方々が利用しています。



★外壁塗装工事★



昨年11月より着工していた緩和ケア病棟改修工事及び全館外壁塗装防水シート張替の改修工事がこの度、完了いたしました。工事期間中はご不便とご迷惑をお掛けいたしました。当院にご入院・来院される患者様・ご家族の皆様のご理解とご協力もあり、無事に完成の運びとなりました。今一度厚く御礼申し上げます。心のこもった医療・看護・介護を提供できるよう日々、全職員が尽力してまいります。